

地理空間計測・活用技術セミナー 2016 in 福岡

～新たな三次元データが必要とされる利活用事例の紹介!～ 開催報告

三次元データに代表される地理空間情報は、防災・環境のシミュレーション等の基幹的なデータとして様々な分野で使われていますが、一方でデータ取得や取り扱いが難しいという課題がありました。そこで、手軽に行えるUAV、レーザ施工管理等の普及、i-ConstructionによるICT技術の活用により、三次元データのニーズはますます高まっています。

本セミナーでは、最新の地理空間計測技術の動向を報告するとともに、その特徴、データ処理・解析技術、様々な利活用事例を紹介しました。基調講演では、熊本大学大学院小林一郎教授より三次元技術の応用化を研究する立場から、設計・維持・管理等の段階においての利用例についての紹介と、九州大学大学院三谷泰浩教授より、防災研究の立場から、防災に不可欠な情報やG空間情報の活用についての紹介がありました。

また、ツイッターを用いてリアルタイムにセミナー内容の情報発信と意見交換を行いました。さらに、業界紙新聞社4社の取材を受け、地元への情報提供が行われました。

当協会ではこれまで「航空レーザ」を中心に同様のセミナーを開催しておりましたが、2016年度は航空レーザ計測のほかUAVやMMS計測などにテーマを拡大いたしました。今後も公益財団法人として地理空間情報の高度利活用の普及に向けたセミナーを、時代のニーズにあわせて企画してまいります。

2017年度は11月17日に仙台市にて地理空間計測・活用技術セミナー 2017 in 仙台を開催します。

■開催概要

日 時：平成28年12月2日（金） 10：00～16：30

場 所：TKP博多駅前シティセンター（ホールA）

主 催：公益財団法人日本測量調査技術協会

レーザWG・MMS_WG・UAV技術WG

地理空間計測・活用技術セミナー 2016 in 福岡実行委員会

後 援：国土交通省国土地理院

一般社団法人建設コンサルタンツ協会九州支部

一般社団法人全国測量設計業協会連合会

参加者：144名（参加証明書131名発行）

技術セミナー：最新の地理空間計測技術・事例等の紹介9件

基調講演1：『CIMを学ぶ 一点群データの生かし方』

熊本大学大学院 教授 小林一郎

基調講演2：『防災と情報技術』

九州大学大学院 教授 三谷泰浩

その他：測量CPD、設計CPD対象プログラム（5ポイント）



会場



小林先生



三谷先生